

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	都市再開発等推進事業			事業番号	017-060
担当部署名	建築都市局	局	都市整備部	部	中百舌鳥・拠点整備担当 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数		
		寄与するKPI	有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
		寄与するKPI	有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進		
3	事業開始年度	令和 1 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	都市計画法、都市再開発法					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業、地域団体、その他 (NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアム)					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	民間企業、地権者、駅周辺住民・駅利用者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市有地等の利活用に向けた検討を進め、民間活力を生かした駅周辺の都市機能の更新等により、利便性や快適性の向上と、地域の活性化をめざす。中百舌鳥エリアにおいては、大学や産業支援機関、スタートアップ企業などが集積し、ビジネス・学術での交流機会が創出され、産学官連携などによる新たな技術やビジネスが生まれるイノベーション創出拠点の形成をめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有地等の利活用における民間活力導入の検討に向けた基礎資料の作成、市場調査等の実施</li> <li>市有地の利活用における民間活力導入に向けた実施方針の検討</li> <li>産官学によるコンソーシアムの設立 (中百舌鳥エリア)</li> </ul>					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	コンサルタント					
10	公民連携・協働事業	産学官によるコンソーシアムの設立 ・地域団体との連携					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 市有地等の利活用の件数	件	目標値	-	-	0	2
		実績値	-	-		
		達成率	-	-		
当該指標を選定した理由		都市拠点における都市機能の更新に向け、実際に動かしていくことが本事業の目的につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		駅前空間等の都市拠点における市有地等の利活用に向け、具体的に動き出した件数を算出				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 実施主体となる団体との協議会等への出席回数	回		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	-	-	5	
		実績値	-	-		
達成率	-	-				
当該指標を選定した理由		市有地等の利活用に向けて具体的に動かすためには、関係者の意向のバランスを取りながら、協議を重ね、調整し、進める必要があるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		実施主体となる団体との協議会等へ市が出席した回数を算出				

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号	017-060
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	0	9,020	42,500	16,662	28,257
13 財源内訳	国支出金				5,000
	府支出金				
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	0	9,020	42,500	16,662	23,257
14 人件費 (b)	0	16,200	19,598	19,598	59,450
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	25,220	62,098	36,260	87,707

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
拠点周辺における都市機能更新に関する調査検討支援業務等	R2 決算	16,662	16,662		R2 決算		
	R3 予算	17,400	17,400		R3 予算		
	R2 決算	0	0		R2 決算		
	R3 予算	10,500	5,500		R3 予算		
	R2 決算	0	0		R2 決算		
	R3 予算	357	357		R3 予算		
	R2 決算				R2 決算		
	R3 予算				R3 予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 実施団体との協議会等への出席回数	回	-	-
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	-
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	市有地等の利活用に向け、業務の内容により発注形式（一般競争入札やプロポーザル）を使い分け、基礎資料の作成や活用方針の検討などの業務を効率的に実施した。
----	---

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地等の利活用に向け、基礎資料の作成や活用方針の検討など、事業の推進を図った。</li> <li>・中百舌鳥エリアにおけるイノベーション創出拠点の形成に向け、産学官からなるコンソーシアムを設立することができた。</li> </ul>
----	---